

# 運動失調症のバイオマーカーの探索

研究分担者: 宇川義一 (福島県立医大神経内科)  
寺尾安生、徳重真一、寺田さとみ (杏林大学細胞生理学、神経内科)  
花島律子 (鳥取大学神経内科)

自然経過を修飾できる治療法を開発する

詳細に経過を評価できるバイオマーカーが必要

臨床症状発症前から評価できるバイオマーカーを探索する

小脳の学習能力  
プリズム適応解析

花島・宇川

時間情報処理機能  
タッピング解析

徳重・寺尾・宇川

眼球運動機能  
Saccade 解析  
眼と手の協働運動解析

寺田・寺尾・宇川

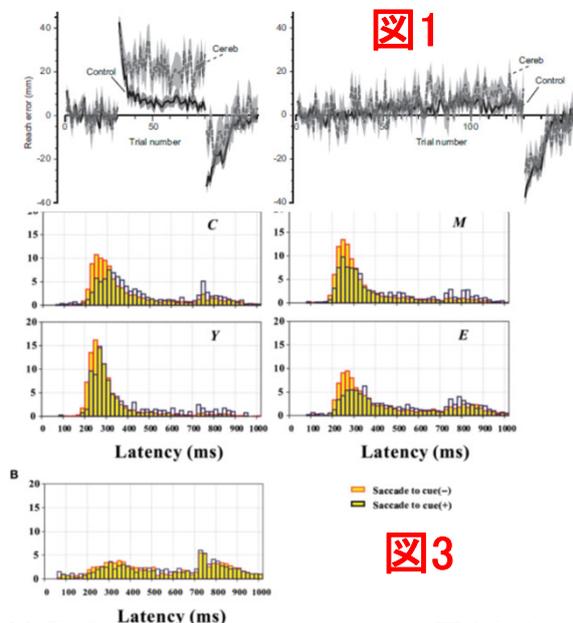


図1

図3

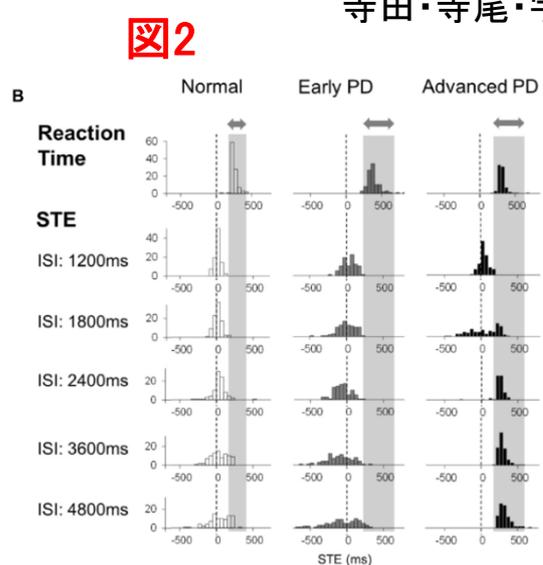


図2

【目的】臨床経過フォローに最適なバイオマーカーを確立する

【成果】 ①プリズム学習による解析について論文として発表(図1)

②多施設共同でのタッピング解析について論文として発表(図2)

③眼球運動の患者症例を解析

④眼と手の協働運動の解析を評価方法の一つとし提案(図3)